

4 製造品出荷額等

- ・ 製造品出荷額等は11兆994億円で、前回と比較すると5266億円(△4.5%)減少した。
- ・ 1事業所当たり製造品出荷額等は、2億4333万円で1388万円(6.0%)増加した。
- ・ 1従業者当たり製造品出荷額等は、2527万円で92万円(3.8%)増加した。

(1) 産業別の状況

産業別にみると、「印刷・同関連業」が1兆7280億円(構成比15.6%)で最も多く、次いで「輸送用機械」が1兆3608億円(同12.3%)、「情報通信機械」が1兆1025億円(同9.9%)、「電子・デバイス」が9293億円(同8.4%)の順となっている。

前回と比較すると、「電子・デバイス」、「精密機械」、「鉄鋼業」など5産業で増加したが、他の産業は減少した。増加額は「電子・デバイス」が1637億円(21.4%)で最も大きく、減少額は「情報通信機械」が2334億円(△17.5%)、「印刷・同関連業」が1554億円(△8.3%)と大きい。

1事業所当たり出荷額等は、「情報通信機械」が30億3482万円、「輸送用機械」が15億123万円、「化学工業」が14億9564万円で多く、「衣服・その他」が3172万円で最も少ない。

1従業者当たり出荷額等は、「情報通信機械」が6146万円、「石油・石炭」が5883万円で多く、「衣服・その他」が792万円、「繊維工業」が834万円と少ない。

(図15、付表2・5)

(2) 従業者規模別の状況

従業者規模別にみると、「1000人以上」が3兆6895億円(構成比33.2%)で最も多く、「1～3人」が2912億円(同2.6%)で最も少ない。

前回と比較すると「50～99人」と「1000人以上」で増加したが、他の区分では減少した。増加額では、「1000人以上」が958億円(2.7%)、減少額では、「500～999人」が1738億円(△18.9%)で最も大きい。

1事業所当たり出荷額等及び1従業者当たり出荷額等は、「1000人以上」がそれぞれ1588億8113万円と7093万円で最も多い。

(付表3・6)

(3) 地域別の状況

地域別にみると、区部が5兆1845億円(構成比46.7%)、市部が5兆5109億円(同49.7%)、郡部が3996億円(同3.6%)、島部が43億円(同0.0%)となっている。

区市町村別にみると、区部では大田区の7611億円(同6.9%)、板橋区の6718億円(同6.1%)が多く、市部では日野市の1兆763億円(同9.7%)、府中市の7399億円(同6.7%)が多い。

前回と比較すると、17区市町村で増加し、他は減少した。増加額は小平市が1366億円(28.6%)で最も大きく、次いで日野市が1359億円(14.5%)となっている。減少額は青梅市が1864億円(△38.9%)で最も大きく、次いで府中市が1510億円(△16.9%)の順となっている。

1事業所当たり出荷額等は日野市が54億5203万円で最も多く、1従業者当たり出荷額等は小平市が7775万円で最も多い。

(図16、付表4・7)

図15 産業中分類別製造品出荷額等の構成比(全数)

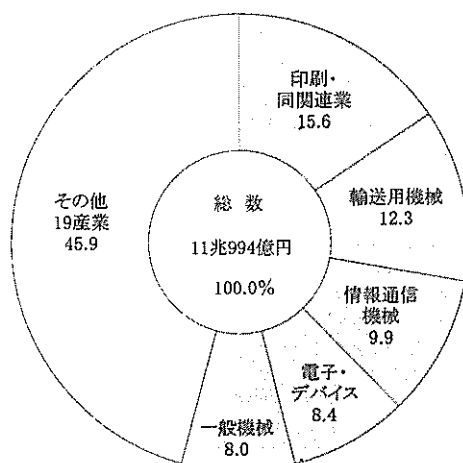


図16 地域別製造品出荷額等の構成比(全数)

